

	問題 番号	出題意図
自己推薦 入試 A 10 月 19 日 実施	第 1 問	理論化学について、周期表、化学結合、原子の構造、純物質と混合物、物質の三態、化学反応の量的関係の基本概念を理解しているか確認する。
	第 2 問	中和滴定実験、酸・塩基、酸化還元滴定についての問題を通じて、基本概念の理解力や化学量論に基づく定量的思考力を確認する。
	第 3 問	結晶格子、コロイド、気体の法則、固体の溶解度について、基本概念の理解力、化学法則の応用力、計算力を確認する。
	第 4 問	反応エンタルピー、化学反応とエネルギー、電気分解、化学平衡、電離平衡について、基本概念の理解力を確認する。 実験問題を通じた化学法則の応用力、計算力を確認する。

	問題 番号	出題意図
自己推薦 入試 B 11 月 9 日 実施	第 1 問	純物質と混合物、化学結合、分子の極性、分離・精製法、物質量、周期表の基本概念を理解しているか確認する。
	第 2 問	化学反応式、中和滴定実験、酸化と還元についての問題を通じて、基本概念の理解力や定性分析の知識を確認する。
	第 3 問	反応エンタルピー、蒸気圧、希薄溶液の性質、コロイドについて、基本概念の理解力や熱化学と化学量論の応用力を確認する
	第 4 問	反応エンタルピーの種類と測定、反応速度、緩衝液について、基本概念の理解力を確認する。 実験問題を通じた化学法則の応用力、計算力を確認する。

	問題 番号	出題意図
自己推薦 入試 C 12 月 14 日 実施	第 1 問	原子の構造、化学結合、分子の形、同素体、物質の性質、高分子化合物の基礎について、基本概念を理解しているか確認する。
	第 2 問	化学反応の量的関係、中和滴定実験、溶液の濃度、金属の酸化還元反応について、基本概念の理解力を確認する。 滴定問題を通じた計算力を確認する。
	第 3 問	結晶格子、コロイド、実在気体、希薄溶液の性質、気体の法則について、基本概念の理解力、化学法則にもとづく応用力、計算力を確認する。
	第 4 問	ダニエル電池、電気分解、反応速度、溶解度積、化学平衡について、基本的な原理や概念を理解しているか確認する。

	問題 番号	出題意図
一般入試 A 1月25日 実施	第1問	化学の基本概念を正確に理解し、用語や性質を論理的に区別する力を確認する。 同素体、イオン、分子の極性、元素の周期表、同位体、成分元素など基礎事項に関する問題を通じて、概念間の関係を整理し、正しい判断を下せるかを確認する。
	第2問	物質質量、溶液の濃度、酸・塩基の定義、中和滴定、酸化還元滴定など、化学現象を数 量的に処理する力を確認する。 公式の暗記にとどまらず、条件設定から論理的に導く力を確認する。 滴定や酸化数変化など、実験操作や反応式の理解を前提とした計算問題を通じて、 実践的な化学的思考力を確認する。
	第3問	状態図、気体の状態方程式、溶解のしくみ、電気分解、平衡の移動など理論化学の基 礎事項について理解力を確認する。 図表の読み取りと記述の正誤判断を通じて、単なる知識ではなく図と文章を関連付 けて総合的に理解する力を確認する。
	第4問	アンモニア、アルカリ金属、金属イオン、めっき、アルカン、脂肪族化合物など、無 機・有機に関する幅広い知識の理解を確認する。 化学の知識を横断的に活用した応用力や計算力を確認する。

	問題 番号	出題意図
一般入試 A 1月26日 実施	第1問	化学の基本概念を正確に理解し、用語や性質を論理的に区別する力を確認する。 原子の構造、周期律、化学結合、混合物の分離、塩の性質、溶液の濃度など基礎事項 に関する問題を通じて、概念間の関係を整理し、正しい判断を下せるかを確認する。
	第2問	化学反応の量的関係、物質質量、溶液の濃度、滴定曲線、酸化剤など、化学現象を数量 的に処理する力を確認する。 公式の暗記にとどまらず、条件設定から論理的に導く力を確認する。 滴定や酸化数変化など、実験操作や反応式の理解を前提とした計算問題を通じて、 実践的な化学的思考力を確認する。
	第3問	蒸気圧、固体の溶解度、コロイド、ボイル・シャルルの法則、ダニエル電池、反応速 度と平衡など理論化学の基礎事項について理解力を確認する。 図表の読み取りと記述の正誤判断を通じて、単なる知識ではなく図と文章を関連付 けて総合的に理解する力、熱力学的性質や電気化学の基礎を応用する力を確認する。
	第4問	アルカリ金属、金属の反応、錯イオン、銅、アルコール、カルボン酸、アルカンな ど、無機・有機に関する幅広い知識の理解を確認する。 化学の知識を横断的に活用した応用力や計算力、構造と性質の関連付けや論理的推 論力を確認する。

	問題 番号	出題意図
一般入試 B 2月8日 実施	第1問	原子の構造、化学結合、元素の周期表、結晶の性質、錯イオン、成分元素の検出など、化学の基本概念を体系的に理解しているかを確認する。構造と性質の関係を論理的に説明できる力を確認する。
	第2問	物質量、酸化還元反応、化学反応の量的関係、中和滴定実験など、数量的処理を通じて化学現象を理解する力を確認する。 実験条件を踏まえた論理的な推論力を確認する。
	第3問	気体の法則、化学反応とエネルギー、気体の溶解、コロイドなど理論化学の基礎事項について理解力を確認する。 複数条件を組み合わせた問題を通じて、単なる知識の暗記ではなく総合的に考える力を確認する。
	第4問	貴ガス、ハロゲン、酸化物、錯イオン、炭化水素、アルカン、芳香族炭化水素など、無機・有機に関する幅広い知識の理解を確認する。 化学の知識を横断的に活用した応用力や計算力、実験条件と生成物の関係を論理的に推定する力を確認する。